

平成30年6月
さいたま市の財政



さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、平成30年度の当初予算の概要と平成29年度下半期の財政状況をお知らせします。

なお、本冊子は、平成30年3月31日現在の状況を基に調製しています。この状況に出納整理期間※の変動を加えることで、決算として確定します。決算の概要については、12月号で公表を予定しています。

※「出納整理期間」とは

3月末日までに確定した債権・債務を整理するための期間として、5月末日までの2か月間設けられているもの。

もくじ

1	平成30年度当初予算の概要	1
2	平成29年度歳入歳出予算の執行状況	
	・一般会計	3
	・特別会計	5
3	平成29年度予算の使い方と市税負担	7
4	財産、地方債及び一時借入金の現在高	8
5	公営事業の状況	9

1 平成30年度当初予算の概要

予算の特徴

- 新たに策定した「さいたま市総合振興計画後期基本計画後期実施計画」や、「しあわせ倍増プラン2017」、「さいたま市成長加速化戦略」等の計画を推進し、市民一人ひとりがしあわせを実感でき、誰もが住んでいることを誇りに思える都市の実現に向けた予算
- 本市の将来を見据え、次世代自動車・スマートエネルギー特区の継続や地域経済の活性化推進、学校施設の新設・更新、市有施設の維持補修など、「運命の10年」として積極的な投資を行う予算
- 交通の結節点である本市の強みを生かすため、大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進など、交通機能の強化を図るとともに、東日本の各都市と連携を強化し、真の東日本の中枢都市としての地位を確立するための予算
- 市民の健幸を推進するために高齢者が健康で安心して生活できる環境を整えるとともに、出産・育児への支援、教育の拡充など子どもたちが明るい未来を築くための少子高齢化に対応した予算

予算の総額

一般会計

福祉、教育、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

福祉

土木

教育

など

当初予算額 (前年度)

5,545億円 (5,301億円)

対前年比 4.6%増

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には14の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

当初予算額 (前年度)

3,087億円 (3,373億円)

対前年比 8.5%減

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

当初予算額 (前年度)

1,306億円 (1,223億円)

対前年比 6.7%増

全会計合計

当初予算額 (前年度)

9,938億円 (9,897億円)

対前年比 0.4%増

主な事業

01

環境
アメニティ

次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業【予算 1億6,420万円】

総合特区制度を活用し「徹底的な低炭素化」「エネルギーセキュリティの確保」「誰もが自由に移動できる手段の確保」に取り組み、「暮らしやすく、活力ある都市として、継続的に成長する環境未来都市」を更に向上します。

02

健康
福祉

市立病院施設整備事業【予算 145億8,417万円】

市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施します。

03

教育・文化
スポーツ

(仮称) 市民会館おおみや整備事業【予算 40億6,588万円】

大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業に伴い、市民会館おおみやの機能を移転し、文化会館機能・コミュニティ機能等を備えた新たな施設を整備します。

04

都市基盤
交通

大宮区役所新庁舎整備事業【予算 75億2,986万円】

民間活力を導入し、設計、施工、維持管理及び運営を一括して行うPFI-BO方式による新庁舎整備を、平成31年5月供用開始に向けて着実に推進します。

05

産業
経済

(仮称) 東日本連携支援センター整備事業【予算 2億6,711万円】

東日本の交流拠点都市実現のためのプラットフォーム「(仮称) 東日本連携支援センター」を整備します。

06

安全
生活基盤

(仮称) 北袋1丁目防災公園整備事業【予算 7億4,299万円】

市民の憩い、レクリエーションの場となる身近な公園を整備するとともに、さいたま新都心の広域防災・医療拠点を補完するオープンスペースを確保します。

07

交流
コミュニティ

自治会運営補助金交付事業【予算 2億8,285万円】

住み良い豊かな地域社会の形成に資することを目的として、自治会及び自治会連合会の運営に要する経費の一部を補助します。

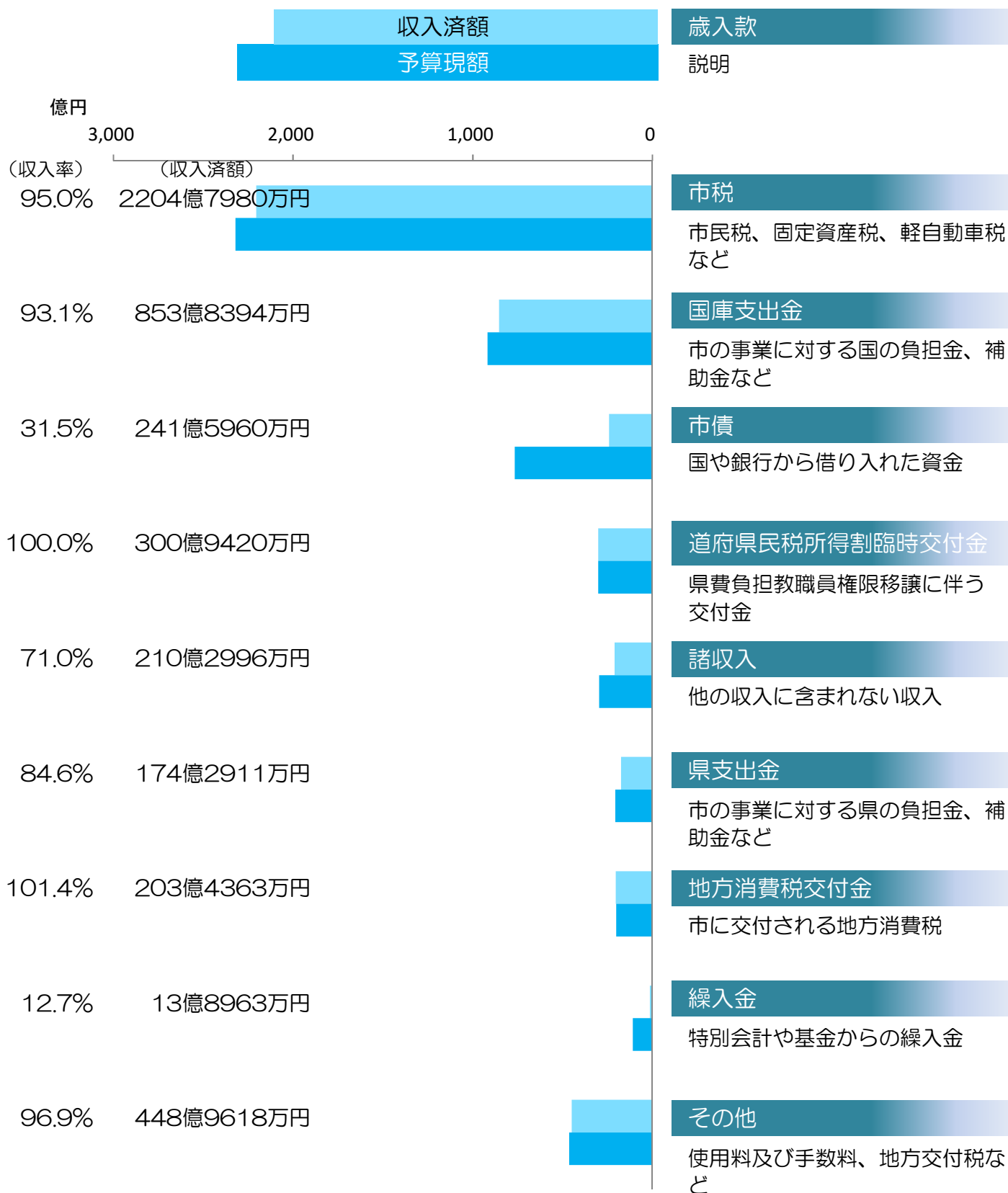
このほかにもさまざまな事業に取り組んでいきます。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組んでいます。



2 平成29年度歳入歳出予算の執行状況

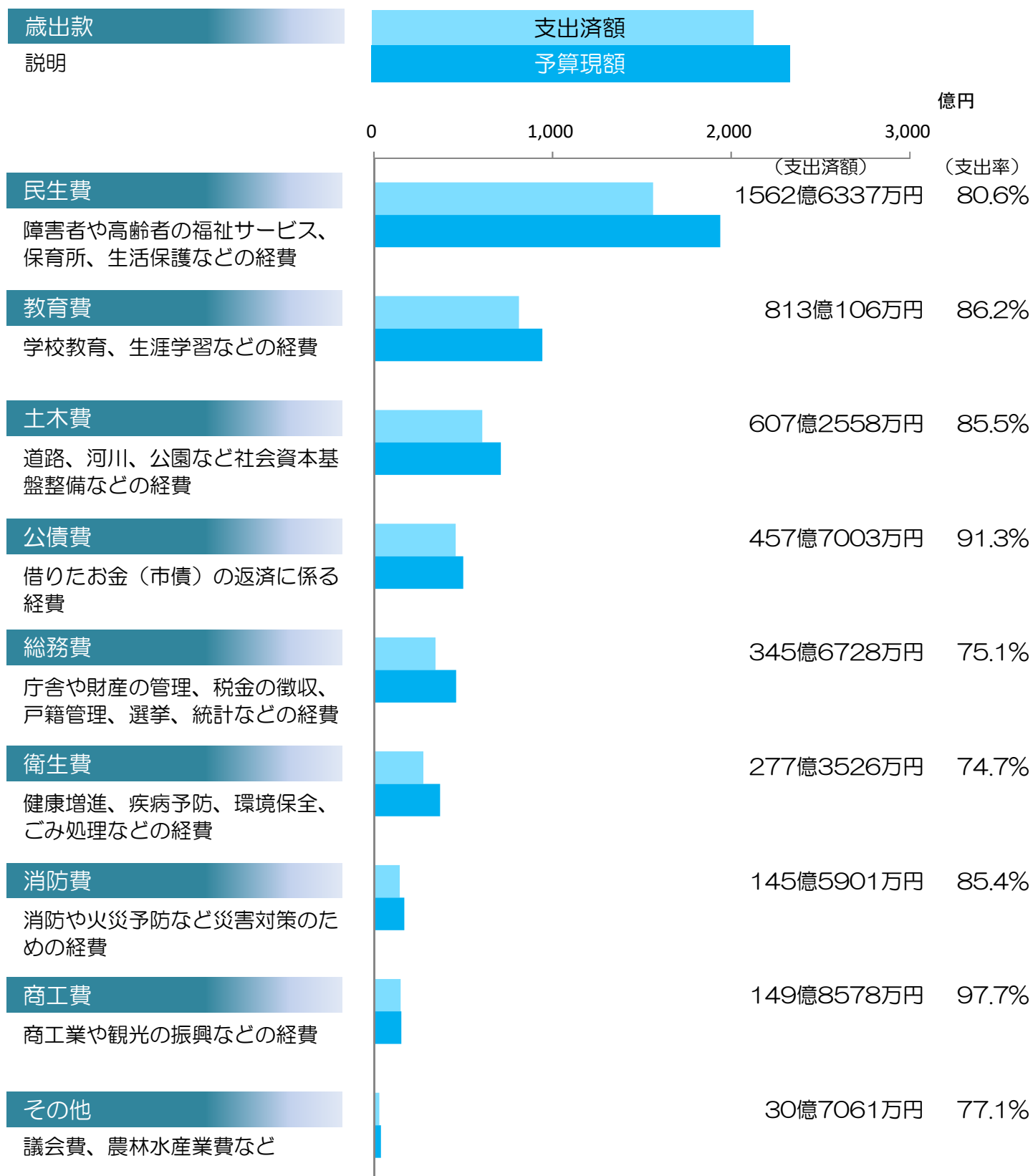
一般会計

$$\text{歳入} = \frac{\text{収入済額 } 4652\text{億}604\text{万円}}{\text{予算現額 } 5580\text{億}5243\text{万円}} = \text{収入率 } 83.4\%$$

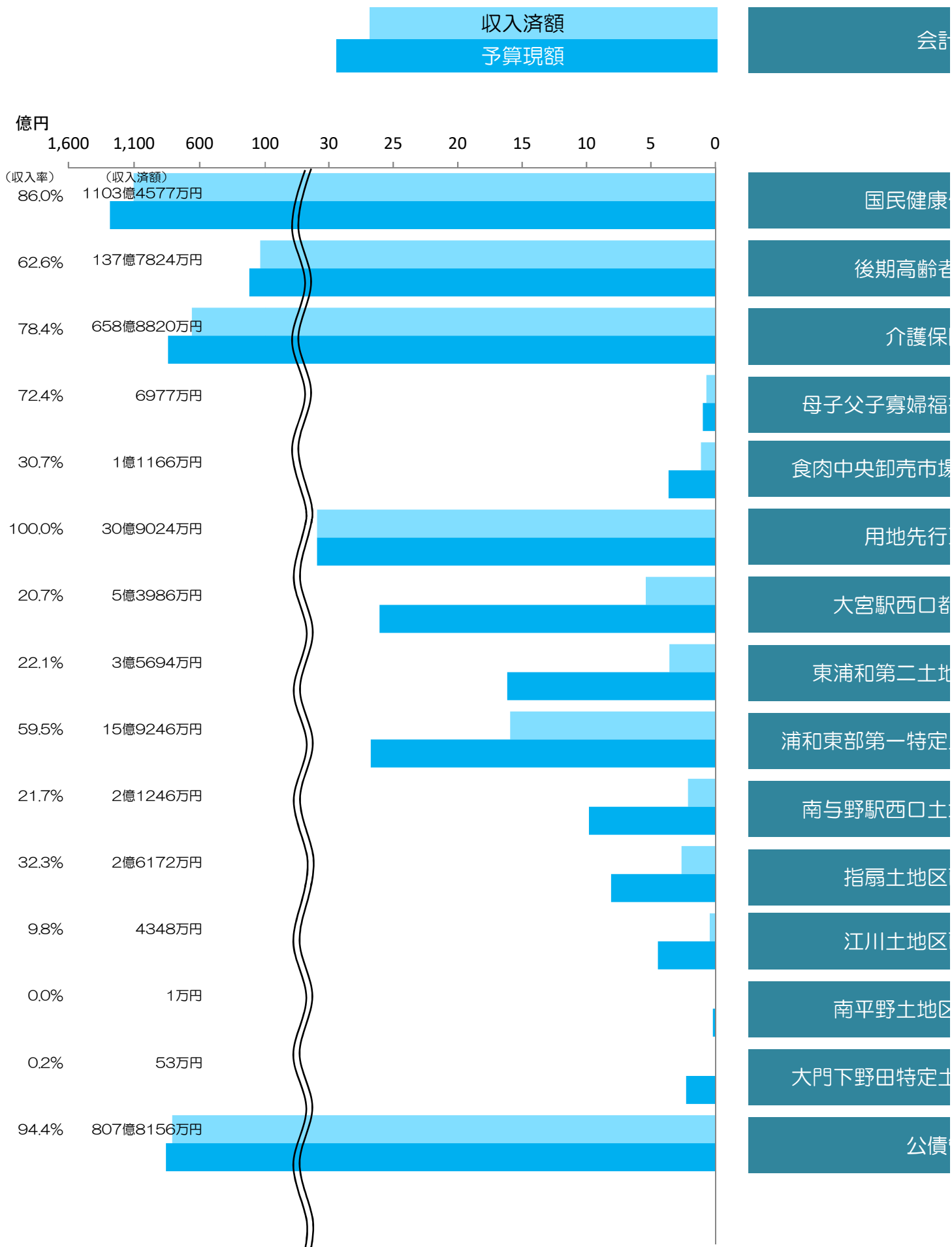


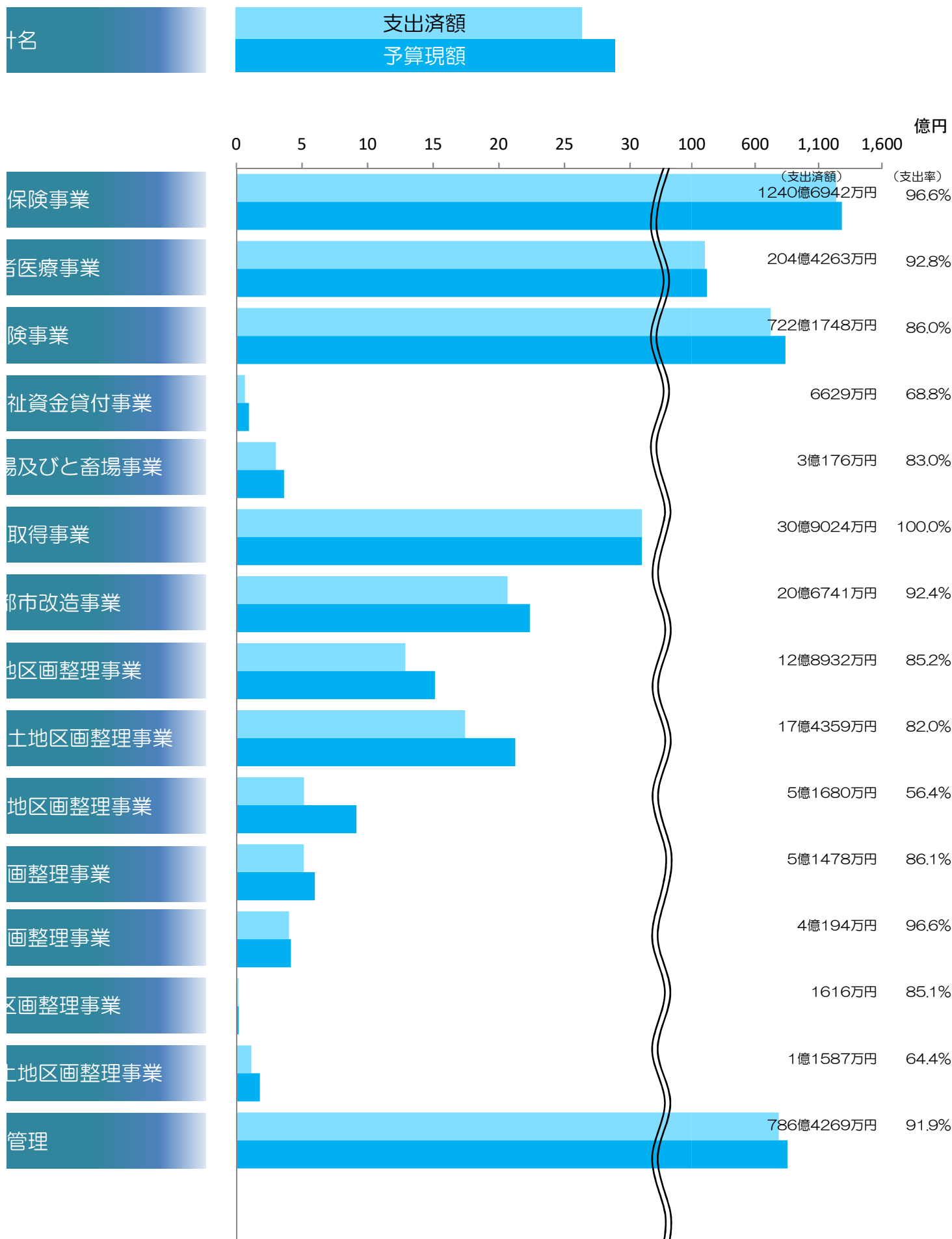
※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

歳出 $\frac{\text{支出済額 } 4389\text{億}7798\text{万円}}{\text{予算現額 } 5289\text{億}4339\text{万円}} = \text{支出率 } 83.0\%$



特別会計





3 平成29年度予算の使い方と市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



149,791円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

408,658 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※平成30年4月1日現在の人口（1,294,343人）を基に算出（以下同様）

2

教育費



72,875円

3

土木費



54,902円

4

公債費



38,716円

5

総務費



35,557円

6

衛生費



28,704円

7

消防費



13,178円

8

商工費



11,855円

その他

農林水産業費
議会費
労働費
予備費
災害復旧費

3,079円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

179,257 円

市民税



90,731円

固定資産税



64,511円

都市計画税

13,799円

市たばこ税

5,717円

事業所税

3,553円

軽自動車税




943円

その他

3円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

財産

土地	建物	基金
		
31,328,880.46㎡	2,619,507.60㎡	69,882,039千円

その他の財産

区分	3月末現在高
立木	7,274.00 ㎡
物権	267,972.98 ㎡
動産	なし
無体財産権	9 件
有価証券	9,684,100,000 円
出資による権利	1,646,907,715 円
不動産の信託受益権	なし
物品	4,096 点
債権	3,252,217,185 円

※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

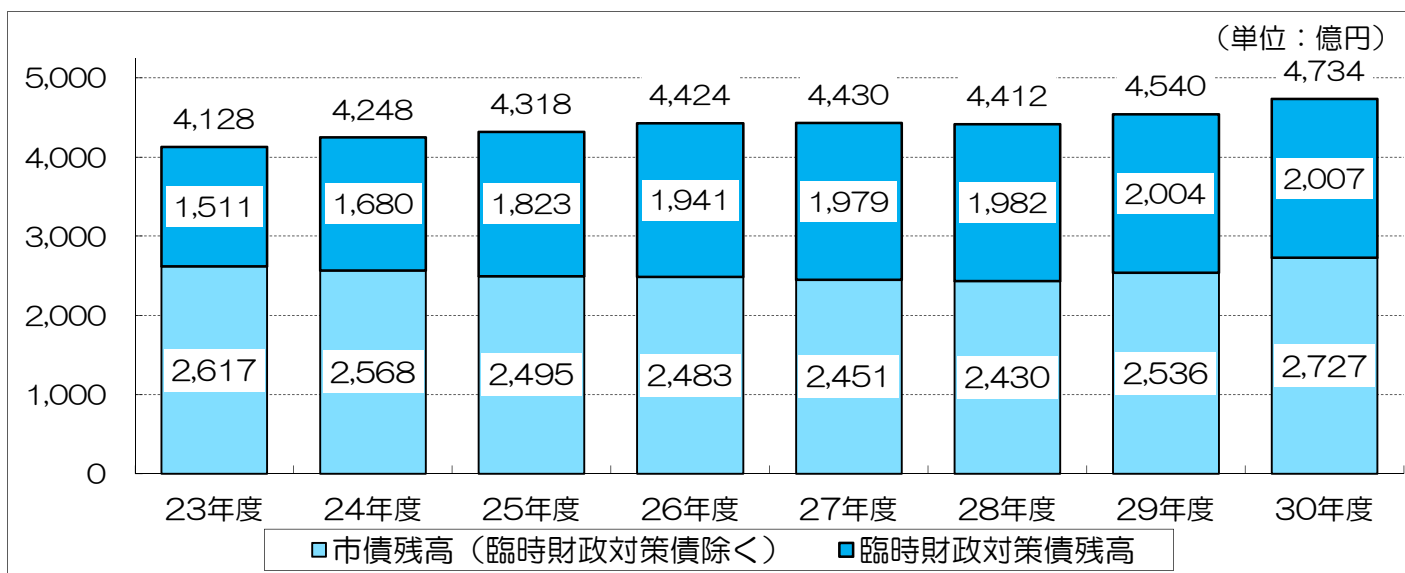
地方債

(単位：千円)

会計	平成29年9月末 現在高	平成29年10月 ～平成30年3月 借入額	平成29年10月 ～平成30年3月 償還額	平成30年3月末 現在高
一般会計	420,693,959	24,159,600	25,523,715	419,333,737
特別会計	12,532,194	24,900	1,396,447	11,156,754
企業会計				
水道事業	51,291,795	2,470,000	2,321,552	51,440,243
病院事業	2,793,788	1,963,700	82,089	4,675,399
下水道事業	175,503,685	12,430,500	7,164,987	180,769,198
合計	662,815,421	41,048,700	36,488,790	667,375,331

(参考) 市債残高の推移

※一部の特別会計の廃止に伴い、一般会計と特別会計の間で残高の調整を行っています。



※平成28年度までは決算額、平成29・30年度は見込額

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

一時借入金

平成29年度上半期における借入れはなく、下半期は、下水道事業会計において20億円（12月20日から25日までの6日間）の借入れを行いました。平成30年3月末現在の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 公営事業の状況

水道事業

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっており、これらに係る財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、平成26年12月に改訂した、さいたま市水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

平成30年度当初予算の概要

当初予算額 46,869,930千円

(主な事業) (単位：千円)

水道施設整備事業	10,985,984
水の安定的な供給を図るための施設整備を推進します。	

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしていますが、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっていることから、中期経営計画に基づいた、医療機能の充実と健全経営の確立を図る必要があります。

また、施設及び設備が老朽化しており、安定した医療提供体制の維持と、医療機能を強化するために、施設の更新を行い、地域がん診療連携拠点病院として質の高い医療の提供や、高度医療機器の整備、緩和医療を含めた診療体制の充実などを図っていく必要があります。

平成30年度当初予算の概要

当初予算額 32,484,823千円

(主な事業) (単位：千円)

市立病院施設整備事業	14,584,165
市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施します。	

市立病院高度医療機器整備事業	214,917
質の高い医療の提供及び病院機能拡充のため、神経内視鏡システム等の医療機器を整備します。	

下水道事業

公衆衛生の向上、生活環境の改善を実現し、水循環を形成するとともに、大雨等による自然災害に対して、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに資するため、主要事業である下水道汚水事業、下水道浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業を推進していきます。

また、平成29年3月に策定した「さいたま市下水道事業中期経営計画（平成29年度から平成32年度まで）」に基づき、現行使用料体系を維持し、下水道サービスを持続的に提供していくために経営基盤の強化に努めていきます。

平成30年度当初予算の概要

当初予算額 51,213,050千円

(主な事業) (単位：千円)

下水道汚水事業	3,965,499
さいたま市生活排水処理基本計画で定めた合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進します。	

下水道浸水対策事業	4,608,646
浸水被害の軽減を目的とした雨水貯留施設及び雨水管の整備を推進します。	

下水道施設老朽化対策事業	3,661,357
老朽化した下水道施設について、計画的な改築を進めるとともに、重要な下水道施設の耐震化を実施します。	

■ 平成29年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	219,524,643
(1) 固定資産	198,760,593
(2) 流動資産	20,764,050
負債	91,711,260
(1) 固定負債	49,871,815
(2) 流動負債	11,067,935
(3) 繰延収益	30,771,510
資本	121,993,787
(1) 資本金	112,377,501
(2) 剰余金	9,616,286
収益	30,496,807
うち営業収益	29,174,235
費用	24,677,211
うち営業費用	23,469,157

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	32,800,125	100.7%	26,236,036	94.4%
資本的収支	3,041,172	76.4%	15,663,182	82.8%

■ 事業の概況 (平成29年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率
給水件数	589,940	597,988	101.4%
給水量 (m ³)	130,687,340	132,054,750	101.0%
一日平均給水量 (m ³)	358,048	361,794	101.0%

■ 平成29年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	20,941,867
(1) 固定資産	12,136,203
(2) 流動資産	8,805,664
負債	11,748,898
(1) 固定負債	7,363,182
(2) 流動負債	3,169,542
(3) 繰延収益	1,216,174
資本	9,807,543
(1) 資本金	8,498,714
(2) 剰余金	1,308,829
収益	16,276,834
うち医業収益	14,570,647
費用	16,891,408
うち医業費用	16,044,086

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	16,295,577	92.7%	16,897,059	96.2%
資本的収支	2,081,116	35.5%	2,633,314	37.6%

■ 事業の概況 (平成29年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率	
病床数	567	567	100.0%	
入院患者数	一般病床	83,695	83,772	100.1%
	結核病床	945	835	88.4%
一日平均入院患者数	一般病床	459.8	460.3	100.1%
	結核病床	5.2	4.6	88.5%
外来患者数	114,696	114,121	99.5%	
一日平均外来患者数	955.8	951.0	99.5%	

■ 平成29年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	419,064,848
(1) 固定資産	408,260,690
(2) 流動資産	10,804,158
負債	286,380,126
(1) 固定負債	169,425,940
(2) 流動負債	17,265,647
(3) 繰延収益	99,688,539
資本	132,495,155
(1) 資本金	130,905,964
(2) 剰余金	1,589,191
収益	24,201,100
うち営業収益	21,181,060
費用	24,011,533
うち営業費用	20,257,689

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	25,568,296	100.2%	24,520,774	99.0%
資本的収支	15,134,188	65.0%	26,677,554	73.4%

■ 事業の概況 (平成29年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率
汚水処理戸数	495,063	505,879	102.2%
汚水処理水量 (m ³)	133,453,360	139,493,332	104.5%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	365,626	382,174	104.5%



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は61円（概算）です。

平成30年6月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1154